

(別添7)

事業所名 グループホームさくら

2 目標達成計画

作成日: R5年9月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 24	希望・意向の把握に努めていたり、一人ひとりの生活歴は馴染の暮らし方、生活環境、これまでの経過等の把握に努めているが、利用者が発した言葉などの記録が少なく、情報共有にまで至っていない	入居時、生活歴等の情報収集のみならず、日常生活の中で得た情報を記録に残し、共有し援助に反映させていく	介助の中で発した言葉等を日常生活記録に残し、ケア会議等で共有し、日常生活の支援に反映していく 「〇〇が食べたい」「昔は自分達で作っていた」「今日は〇〇の日。こんなことを昔はしてた」など	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組みとして、「研修」を日勤扱いで参加してもらっていたが、日々の業務の中でトレーニングができていない	職員が働きやすい環境を作っていく 離職率の低下	年1度、職員と面談を行い、業務の中の目標や悩み等を受ける場を設けている。また管理者側から指導等で望むことをも伝えている。この面談の継続を行い、チームケアができる施設づくりを行う	12カ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。